

コース22 かさがたけ 笠ヶ岳とアヤメ平

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成23年7月24日(日)、25日(月) 1日目晴れ、ガス、2日目快晴のち小雨

参加者 38(男性 13 女性 25)

グレード C上

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
24日 区役所前		4:50	高速料無料(8月末まで)のため、亀田ICへ
鳩待峠	8:50	9:05	しっかり4hかかった。計画は甘かった。
至仏山への分岐		10:40	途中ガスだったが、尾瀬ヶ原はしっかり見えた。
笠ヶ岳	12:25	13:00	山頂(山容)の眺望あり。花と岩。期待通り
鳩待山荘	16:20		風呂が新設されていたのには驚く。
25日 鳩待山荘		6:35	横田代までは、樹林の中をゆるやかに、快調に
アヤメ平	8:40	9:00	横田代やアヤメ平
尾瀬ヶ原・竜宮	11:10	11:45	消滅したと思われた尾瀬コウホネが数本。ホッ。
鳩待峠	14:10	14:55	峠に着いた途端に驟雨。花豆アイスに一同、舌づつみ。
区役所前	19:45		帰路、沼田市の「望郷の湯」入浴 16~17h

山行等概要(幹事のコメント)

- 笠ヶ岳とアヤメ平はそれぞれ自分個人としても是非訪ねたい所だった。
- そこで、先一昨年(平成20年)の7月、良かったら新津ハイキングでやってもいいかなと考え、つまり、下見を兼ねて妻と2人で今回と同じコースを歩いた。その結果実施したのが、このたびの山行である。・・・もっとも、私共2人は、どこの山歩きをするにも、ここはハイキングクラブでやるのにどうだろう。もしやるなら、グレードはどうか、ということをつつも考えている。そして、他の幹事もおそらく同じようではないかと思う。・・・
- さて今回の山行で驚いたことが(新発見したのが)、3つ。1つは長沢新道下方のゴロ石帯が木道に変わった。2つ目は、消滅したと思った尾瀬コウホネ(アヤメ平からの下り)の1株を見つけたこと。3つ目は鳩待山荘に風呂が出来たことであった。
- それにしても、今回のコースは変化に富み、花、花、花の連続だった。SLの観察だと、行程中80種以上の花を確認したという。そして、最後の鳩待への登り返しもみんな元気よく歩き通した。



笠ヶ岳 2058m の山頂

蛇紋岩の岩山、山頂直下へかけて一面のお花畑

「笠ヶ岳とアヤメ平」

(216) M/T

札幌在住の先輩 M/N さんへ近況報告を兼ねた手紙をもって、この山行の感想。紀行文にかえさせていただきます。

「7月24日～25日に夫がリーダーを務める尾瀬の笠ヶ岳とアヤメ平の山旅にサブリーダーとして総勢38名、大型バス一台で行って参りました。

尾瀬の山と云いますと、日本百名山の燧ヶ岳と至仏山が有名ですが、今回は隠れた名山の笠ヶ岳と昭和30年代多くの人で踏み荒らされ、近年迄立ち入り禁止で、復元された天空の湿原のアヤメ平(名の由来はキンコウカの群生がアヤメに似ていたとか)です。

24日新潟を4時55分出発し、登山口で宿泊予定の鳩待山荘に到着。多くの車、大勢の人で賑わっていましたが、東日本震災の影響のためか、いつもよりは少ない感じがしました。

登山に不要なものを山荘に預け、各自身支度、ストレッチをし、6班に分かれリーダーの注意事項を聞き笠ヶ岳へ出発です。私はサブリーダーとして登山届を提出し、山に向かって一礼(無事を祈念)し。最後から皆さんの足どりのチェックをしながらの歩行です。前方はゆっくり歩行でも、後ろの方は早く感じるもので、リーダーは休憩ごとに班を入れかえ公平になるようにしていました。

多くの高山の花を愛で、木道、岩場、水場を経て至仏山への分岐から左へ樹林帯を進み、多種類の咲くお花畑に。皆さんしきりにカメラのシャッターを切り、至福の時間を過ごしました。

山頂が見えても中々到着しません。岩場の大上りです。リーダーの指示で三点確保をしてゆっくり、ゆっくりと登頂。

山頂からは、本来ならば360度の大展望が得られる筈ですが、残念ながらガスの中で……でも一瞬、一部の方向を見ることができました。楽しい昼食タイムです。私は山頂に到着すると、いつもの事ながら、先ずホットコーヒー(インスタント粉末をフィルムの空ケースに入れて持ち歩く)を一杯、なんとも云えぬ美味しさ。幸せを感じます。

尾瀬は午後になると、よく雷鳴にあうことがありますが、幸いにもあわず、全員無事下山。山に向かって一礼して山荘へ。



男女別の部屋に落ちつき、驚いたことに入浴(洗剤使用不可)が出来ました。一日の疲れを取り去り、食堂にて夕食を。先ずは生ビールで乾杯。

一人ひとりにランチョマットに箸置に箸。仕切りのある黒い蓋付き箱膳?には①岩魚の刺身、②えびフライ、いかのリングフライ、③コロコロ肉のステーキ、む葱ソテー、④花豆甘煮、葉とうがらしの佃煮、⑤主食はごはんと生そばの選択性で、⑥みそ汁と共に自由にお代りが出来ます。

夕食後は、日帰り山行では味わうことの出来ない楽しいひと時を過ごし、21時消灯、就寝です。

25日 晴 4時30分起床、5時45分朝食 ①納豆、②塩鮭、③味付けのり、④スクランブルエッグとベーコン、⑤和物（人参、青菜）、⑥ドレッシングサラダ（干キャベツ、人参、トマト）、⑦たくあん、⑧味噌汁（白菜、玉葱、油揚）。

私は皆さんが退室したあとの見まわりを。

6時35分登山届を出し、一礼をして待望のアヤメ平へ出発です。ゆるやかな登り、所々平成22年に新しくなった木道を皆さんルンルン気分で足どり軽やかに、途中富士見峠へ0kmとの標識を数箇所目にしながら、広大な標高1,860mの横田代湿原に。



ウグイスが鳴き、ワタスゲ、キンコウカの大群生、その他数々の高山植物に全身釘づけになりました。見事です。また、眺望も素晴らしく、平ヶ岳、景鶴山、至仏山、西側に連なる尾瀬の高峰群が一望でき、撮影タイムです。

8時30分 本日の最高点1,968mの中原山を通過し、広大な湿原のアヤメ平へ到着。一面のキンコウカの大群生。見事、見事です。自然のおりなす風景に感激！皆さん思い思いに至福のひと時を。

富士見田代分岐より長沢新道を下り尾瀬ヶ原の竜宮十字路口に出るわけですが、以前は、この下りの道はゴロ石状で歩きにくかったのが、何と驚いたことに、木道、木の階段下りと、すっかり様変わりして、難なく下山できました。

尾瀬ヶ原は、標高1,400m、東西約6km、南北約1kmの高層湿原で、数々の池塘、浮島、木道、所々に休憩所があり、進む方向に至仏山、後ろに燧ヶ岳に見守られ、11時10分竜宮十字路口で昼食。数々の植物、特にヒツジグサ、ナガバノモウセンゴケ、原産植物のオゼコウホネ（数本）を觀賞。大勢の人達、特に「尾瀬学校」の腕章をつけた子供達の大集団と挨拶を交わし行きかいました。



分岐牛首、あたりから10分ほど降雨にあい、12時55分山の鼻に到着。ここは、いつ訪れても大勢の人達で賑わっています。休憩をとり樹林のゆるい上り坂を人々の行列をかき分けて、14時10分鳩待峠の山荘に無事到着。預けてある荷物を受取った後、売店にて花豆ソフトアイス400円を口に入れると同時にどしゃ降りの雨、ラッキーでした。

帰りは、途中の「望郷の湯」にて汗を流し、ここでも生ビールで乾杯し、喉を潤し生きかえりました。バスの中は話に花が咲き、19時45分無事安着。サブリーダーの役目を終えホット致しました。

以前は10年位毎年尾瀬に足を運んでまいりました。今回数年振りに訪れてみて、登山道、トイレは水洗、山荘の食事の改善、入浴できた事。等々。随分変わり快適な山旅をすることができました。（1泊9,000円）これらは此処にたずさわる人達のご苦勞のお陰と感謝で一杯です。

いつも思うのですが、同じ山に何回登っても毎回新しい発見と感動があり、心豊かな時を過ごして参ります。

山旅ができるとう事は**健康**でなければ・・・

健康は代ってやる事も代ってもらう事もできませんね。それ故にわかり切っている事ですが、日頃より規則正しい生活とバランス食が基本だと思います。一朝一夕にできる事ではありませんね。心して、少しでも長く山旅を続け、有意義に過ごしたいと願っております。

少し長くなりましたが、今夏の山旅より。ではお元気で。」